

令和5年度

各いのち・愛・ゆめセンターにおける主な独自事業

館名	豊川いのち・愛・ゆめセンター	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター	総持寺いのち・愛・ゆめセンター
事業名	みんなのお泊り訓練こども編	開館50周年記念 ①今昔写真展／②人権連続講座	①三島歴史・くらし資料室／②特別展示企画
内容等	<p>内容：豊川小学校区では、自主防災組織が存在していないこともあり、大阪北部地震後、防災訓練研修を地域に呼び掛けて愛センターを会場に実施してきた。一回目の訓練を受けて、平成31（令和元）年度から3年間は、宿泊型防災訓練を実施するべく、予算化した。コロナ禍で2年間は実施を見送り、令和3年度から宿泊型防災訓練を開始し、今年度は2年目。対象を小中学生に絞り、楽しみながら災害に備える力をつけてもらえるよう企画した。訓練を通して、小中学生であっても役割を与えれば避難所で一支援者として活躍してもらえることを実証できた。彼らをジュニア防災リーダーに認定し、お泊り訓練後もインフルエンサーとなって周りの子どもたちにも防災への関心を広めてもらえるよう、継続して防災について学べる研修を実施している。</p>    	<p>内容①：昔懐かしい館での取り組みや周辺地域の写真を昔と現在とを比較して展示することで、50年間歩み続けた館の軌跡の振り返りと、館への誇りと愛着の醸成を図ることを目的に実施。8月1日～末まで1カ月間ロビーで展示し、延べ343人の方に鑑賞いただけた。同時に、館への50周年メッセージもロビーで募集し、祝福と愛センターへの期待を込めた想いがたくさん集まった。</p>    <p>内容②：毎年開催しているいばらきみなみ地域人権連続講座の1回目を、50周年記念事業として1月19日に開催した。講師に、ドラッグクィーンのベビー・ヴァギーさんをお迎えし、「みんなで考えよう性の多様性」と題して講演いただき、定員100名を超える118名の聴講者で非常に有意義な記念事業となった。</p>  	<p>内容①：コミュニケーションスペースであったふれあいルーム（洋室）を「三島歴史・くらし資料室」として開設。地域の方のご協力によって古い資料や文献の整理を行い、地域の成立や人権・差別にまつわる歴史について資料化を進めている。当時を語る方々の高齢化や資料の棄損等により差別の歴史と人権の取り組みの経過が風化することのないように、また、正しい情報が人々の目に触れるように、資料室の整備を行った。</p>  <p>内容②：「第五福竜丸事件から70年。館として何か発信してもらえないか」という市民の方からの声に応じ、都立第五福竜丸展示館協力のもと特別展示を実施した。また、追手門学院中・高等学校との協働により、ウクライナの子供達によって描かれた絵画53点を展示する「小さき画家たちの展覧会～ウクライナの子供たちが描いた世界～」を開催。観覧者こそ多くはなかったが、展示会を作り上げていく思いや声に寄り添った特別展を開催することができた。</p>  